

臓器移植とは、心臓、肝臓、肺、腎臓などの臓器がほぼあるいはまったたく機能しなくなり、移植でしか治療ができない方の臓器と入れ替えて、回復させる治療法です。医者と患者だけではなく、第三者の善意がなければ成り立たない医療なので、前回新聞で取り上げた「骨髄バンクへ登録して、必要があれば骨髄移植を行う」との似てますね。

一九九七年から「臓器移植法」が施行したことにより、心臓停止後の肝臓と角膜の移植に加え、脳死からの心臓、肝臓、肺、腎臓、脳死臓、小腸などの移植が法律上可能

## 臓器移植って？

前回新聞で取り上げた「骨髄バンク」はどうでしたか？ちよつとした登録などで他の人の命が助かるのって素晴らしいことですよ。で、今回も、身近で出来る善意のネットワーク第2弾「臓器提供」について調べてみました。のっぽのお店にも「臓器提供意思表示カード」が置いてあるのでもみなさんご存知かと思いますが、現状などを踏まえて復習してみてください。

# 臓器提供

### 臓器提供意思表示カード



になりました。この脳死での臓器提供には、本人の書面による生前の意思表示と家族の承諾が必要です（左下図の脳死での提供と心停止後の提供の違いを参照）。「臓器提供意思表示カード」（左図の臓器提供意思表示カード参照）は書面による意思表示の1つの手段です。裏には提供の意思の有無、提供する場合の臓器の種類、本人と家族の署名などを記入します。

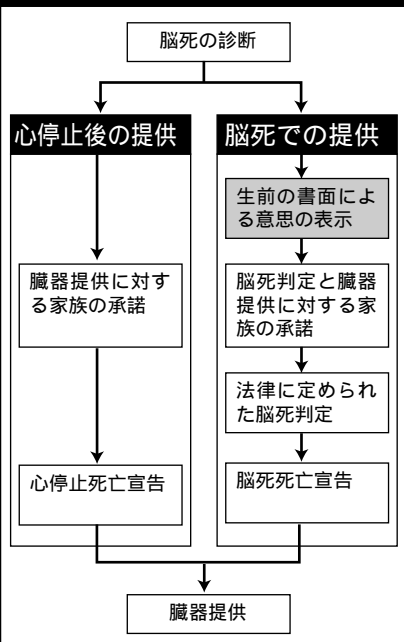
### 世界の臓器移植移植

下の表は世界各国の臓器移植件数と百万人あたりの移植件数をまとめました。百万人あたりの移植件数は、先進国に比べて桁違いに少ないことがわかります。日本は臓器提供が導入されてからまだ低いのも、識がまだ低いのも、いれませぬ。

### 編集後記

医者と患者だけではなく、第三者の善意がなければ成り立たない医療は、自分さえよければ、という考え方では決して出来ません。他の人の命が自分の小さな行動で助かるならばと思えば自然に体が動き、面倒くさがらずにいい事は進んでやろう！善意の輪でみんなつながれば、きつと戦争のない素晴らしい世の中になるよ。

### 脳死での提供と心停止後の提供の違い



### 世界の臓器移植件数

OPTIONG IN		OPTIONG OUT	
国名	年間移植件数	国名	年間移植件数
日本	595	オーストリア	334
アメリカ	11428	ベルギー	429
カナダ	996	ルクセンブルグ	1688
ドイツ	2249	フランス	311
オランダ	510	ハンガリー	1309
スイス	236	イタリア	1861
イギリス	1785	スペイン	
アイルランド			

#### OPTIONG IN

本人が生前、臓器提供の意思を示していた場合または家族が臓器提供に同意した場合、臓器提供が行われる。日本では、脳死で提供する場合、本人の意思表示かつ家族の同意

#### OPTIONG OUT

本人が生前、臓器提供に反対の意思を文書で残さない限り、臓器提供をするものとみなす。臨床の現場では家族の反対があれば実際には臓器提供をしないことが多い。

